

1. 本当屋寄り（3月3日～10月14日）

→ 参考資料- 1～9

第1回で神楽団を呼ばないこと、保存会の発足とその催し以外は従来どおりの奉納行事という基本方針が固まった。その後の第2～4回は過去の実情把握と道具類予約などで、第5回以降が具体的な準備を行い、第8回で祭礼行事の最終的な確認を行った。

回次	開催日	検討・承認・決定の内容
第1回	3月3日（日） 8時半～、75分	決定： 祭礼の開催日程、神楽団を呼ばないことほか 当屋総代： 保存会が催す以外の奉納行事は従来どおり
第2回	4月14日（日） 8時半～、60分	当屋総代： 経過報告、日程の確認（当屋寄りを8/25） 決定： 行事等の担当責任者
第3回	5月12日（日） 10時～、80分	検討： お供え物の内容、会計から予算案提示など 決定： 太鼓借用の予約、ワラ保管と練習場への謝礼
第4回	6月9日（日） 8時半～、120分	経過報告： 脛打ち練習場の確保、センバ借用など 検討： 各担当に見積もり依頼、役割表の進捗状況など
第5回	8月18日（日） 9時頃～、120分	総代会の報告： 本当屋が仕切り他当屋は協力することほか 決定： 本当屋分の役割表参加者
第6回	9月8日（日） 9時～、150分	検討： 役割表の詰め、巫女の舞の練習日程と準備、太鼓の運搬と借用料、保存会との打合せ日程
第7回	9月29日（日） 16時～、120分	総代の報告と検討： 楽打ち練習日程、太鼓の保管と謝礼 検討： 幢立ての手順表、開催案内文案ほか
第8回	10月14日（月） 9時頃～、120分	検討： 運営表と役割別日程表、前夜祭の会場作り (最終的な計画表が完成)

2. 当屋寄り（8月25日（日）13時半～14時半）

→ 資料- 3、参考資料- 6

3. 保存会と本当屋の打合せ（9月13日（金）19時半～20時45分）

→ 参考資料- 8

4. 幢立て作業等に関する常会長会議

日時： R6年10月4日（金）19時～19時半、川地コミュニティ図書室

出席者： 大坪：成清、中田（猛）、末国（栄）、末国（富）

常会長： 荒瀬（木舟）、今谷（市場） 犬石氏と川本氏は欠席

配布資料： 作業分担表、神社境内地図（幢立てと注連縄張りの位置を図示）、幢の一覧表
注連縄の種類表、胴打ち等の練習日程表、例大祭チラシ

会合の主旨： 幢立ては、注連縄作り以上に広範囲を対象にした共同作業なので、作成した資料内容に基づいて周知を図ること。

検討の概要： 2名欠席（開催案内が不届）だったので、資料説明し作業分担表など共同作業の資料を各3部配布し周知を依頼した。